

中長期目標 (学校ビジョン)		技術を研ぎ、身体を鍛え、心を磨くことをとおして、優れた知性や創造性を身に付けたたくましい力と、感動したり他者を思いやるあたたかな心を兼ね備えた、健全で個性豊かな人材の育成をめざす。		今年度の重点目標 1. 学力の向上 2. 豊かな人間性の育成 3. キャリア教育の充実と進路実現			
評価項目 評価の具体項目 現状 目標(年度末の目指す姿) 目標達成のための方策 経過・達成状況 評価結果 (3)月 改善方策							
1 学力の向上	① 授業改革と学力の向上	<p><b>【授業改革】</b> ・各科・教科によるアクティブラーニング(AL)を用いた公開授業の実施 ・家庭学習時間は1年生95.6分、2年生83.5分、3年生73.8分は例年並み ・学校評価アンケートによる生徒の授業満足度は概ね良好(72%)</p> <p><b>【学力の育成】</b> ・基礎力診断テストについては基礎力不足層(Dゾーン)が全学年とも約50%を占有、基礎学力の定着に課題 ・全国高校校長会主催標準テストについては成績向上に課題</p> <p><b>【学習環境の整備】</b> ・ロッカ内およびロッカ上の整備が向上 ・授業前の着席と挨拶は改善 ・教科書やノートなど、教材の授業前準備に課題</p> <p><b>【授業改革】</b> ・ALを実践する職員数の増加 ・進路を切り聞く主体的な学びの実践 ・ICTを活用した分かりやすい授業づくり ・80%以上の生徒が授業に満足と回答</p> <p><b>【学力の育成】</b> ・進研模試において、SS50以上の生徒が各学年で10名以上(理数工学科) ・基礎力診断テストにおける、基礎力不足層(Dゾーン)の減少 ・専門教育に応じる数学力の定着</p> <p><b>【学習環境の整備】</b> ・教室美化、授業準備と挨拶の徹底 ・図書館のWi-Fi環境の整備、タブレット端末の活用と研修会の実施</p>	<p><b>【授業改革】</b> ・ALの理解を深め、実践につながる研修会を年2回実施 ・他校とのALの公開授業の案内を提示・連絡によって職員に勧奨 ・プレゼンテーションソフト及びタブレット端末の利用促進 ・授業評価アンケート結果に基づく授業改善の実施</p> <p><b>【学力の育成】</b> ・進学補習の計画的実施 ・基礎力養成に向けた放課後補習及び個別指導を、各科・各教科で実施</p> <p><b>【学習環境の整備】</b> ・教室美化、授業準備と挨拶の徹底 ・図書館のWi-Fi環境の整備、タブレット端末の活用と研修会の実施</p>	<p><b>【授業改革】</b> ・学校全体でALの理解を深める研修を予定通り年2回実施 ・他校とのALの公開授業の案内を行ない、職員に勧奨 ・パワーポイントなどによる視覚教材で、生徒に興味関心を持たせる授業の実践 ・授業アンケートを各科で集計、それに基づいた改善方策の協議と施行 ・学校評価アンケートによる生徒の授業満足度は75%に改善</p> <p><b>【学力の育成】</b> ・進学補習を計画的に実施 ・各科・放課後補習を適宜実施、基礎力定着の推進 ・進研模試における理数工学科のSS数値目標は未達成 ・基礎力診断テストにおける工芸学科の基礎力不足層(Dゾーン)は45.5% (平成27年度のDゾーンは44.0%)</p> <p><b>【学習環境の整備】</b> ・SSあさひによる教室整備で教室美化に努め、落ち着いて授業に入る準備の徹底 ・図書館のWi-Fi環境整備の継続</p>	B	<p><b>【授業改革】</b> ・今後も公開授業を拡大、ALを理解する研修の深化 ・引き続き、他校での公開授業の案内を行ない、職員に勧奨 ・パワーポイントなどによる視覚教材で、生徒の興味関心を惹起 ・授業アンケートに基づく改善方策の継続</p> <p><b>【学力の育成】</b> ・進学のための補習の充実 ・基礎学力の向上・定着のための補習の継続</p> <p><b>【学習環境の整備】</b> ・SSあさひの徹底、教室整備と授業規律の向上 ・引き続き、Wi-Fi環境整備とICT活用の推進</p>	
	② 主体的な学習態度と実践力の育成	<p><b>【生徒の学習状況と学習意欲の喚起】</b> ・自宅学習時間も含めた全学習時間の増加が課題 (自宅学習時間:理数工学科124分、工業学科75分) ・課題提出等の期限遵守に課題 ・生徒の進路目標の早期設定に課題 ・担任・教科担任で進路面談・声かけ等を実施 ・シラバスにより評価規準と生徒に周知</p> <p><b>【生徒の学習状況と学習意欲の喚起】</b> ・自宅学習時間の増加による主体的な学習態度の育成 (自宅学習時間:理数工学科130分、工業学科80分) ・基礎学力の向上 ・具体的な進路目標の設定による進路意識の向上 ・進路を意識した座学と実習の効果的な授業展開</p>	<p><b>【生徒の学習状況と学習意欲の喚起】</b> ・家庭での情報端末の利用を減らし、自宅学習時間を確保 ・週末課題等の定期的且つ適度な量の課題提示 ・学びの延長としての資格検定受験の推奨 ・進路実現のための資格検定取得の奨励 ・継続的な個別面談による進路意識の向上</p>	<p><b>【生徒の学習状況と学習意欲の喚起】</b> ・自己学習調査による情報端末の使用度を把握、生徒指導に活用 (自宅学習時間:理数工学科141分、工業学科89分に改善) ・各科・各教科による資格・検定の受験の推奨 ・面接の推進と継続による生徒の状況や進路の把握</p>	B	<p><b>【生徒の学習状況と学習意欲の喚起】</b> ・自己学習調査の結果に基づく注意喚起の実施 ・引き続き、各科で適度な課題を適宜提示 ・引き続き、各科・各教科による資格・検定の受験の推奨と補習の実施 ・面接の推進と継続による生徒の状況把握</p>	
2 豊かな人間性の育成	① 互いを尊重する態度と社会性の涵養	<p><b>【人権教育・性教育】</b> ・WYSH教育公開LHRを1年生で実施 ・性教育LHRを全学年で実施、他の人の人権を尊重する態度の育成に課題</p> <p><b>【ハイパーQU、いじめアンケート等の活用】</b> ・職員研修で全職員に周知、クラス目標を設定 ・クラスづくりLHR・面談等の結果を活用するも、生徒自身の自己理解に課題 ・いじめ問題に早期対応、各教科でも人権教育を推進 ・生徒が相談しやすい体制を整備しているが、悩みを抱えている生徒は少なくないと理解</p> <p><b>【指導力向上の職員研修】</b> ・7割の職員が人権教育に関する校外研修「一人一研修」に取り組んだが、LHR等への研修成果の還元に課題 ・情報提供は速やかに実施</p>	<p><b>【人権教育・性教育】</b> ・人権意識が醸成され、他の人の人権や存在を尊重できる生徒の増加</p> <p><b>【ハイパーQU、いじめアンケート等の活用】</b> ・自己理解が出来て、集団規範が順守できる生徒の増加 ・いじめが無くなる社会生活を安心して送れる生徒の増加 ・悩みが相談しやすい雰囲気の確立と、勉強が楽しくと思える生徒の増加</p> <p><b>【指導力向上の職員研修】</b> ・一人一研修の参加率を9割以上 ・研修成果を教科やLHR等に還元</p>	<p><b>【人権教育・性教育】</b> ・人権教育LHR・性教育LHRを充実 ・WYSH教育LHRを1年生に実施</p> <p><b>【ハイパーQU、いじめアンケート等の活用】</b> ・ハイパーQUを分析し、生徒理解とクラス運営に活用 ・いじめアンケート等を通じて、生徒の抱える悩み等を把握する等、関係分享と情報を共有 ・教職員や外部関係機関との連携を強化、充実</p> <p><b>【指導力向上の職員研修】</b> ・研修会や講演会の情報をこまめに情報発信し研修会への参加を促進 ・人権教育LHRの指導案の充実</p>	<p><b>【人権教育・性教育】</b> ・人権教育LHR・性教育LHRを計画に沿って実施 ・WYSH教育LHR(1年生)・人権教育LHR(2年生)を公開LHRとして実施 ・3年生人権意識調査の結果、概ねの生徒の人権意識の高まりを認識</p> <p><b>【ハイパーQU、いじめアンケート等の活用】</b> ・hyper-QUアンケートと職員研修会を継続、学校や生徒理解に向けてアンケート結果の活用を推進 ・いじめ等に関するアンケートを継続実施し、問題の早期発見・早期対応に向けた分掌問の連携を強化</p> <p><b>【指導力向上の職員研修】</b> ・人権教育に関する校外研修への参加を継続的に呼びかけ ・一人一研修の参加率は56.9% ・性教育・人権教育LHR指導案の確立に尽力</p>	B	<p><b>【人権教育・性教育】</b> ・講演会やLHR等の年間行事の見直しと計画的な事業実施 ・人権教育LHR等の実践内容の整理と工夫</p> <p><b>【ハイパーQU、いじめアンケート等の活用】</b> ・hyper-QUアンケートと職員研修会を継続、学校や生徒理解に向けてアンケート結果の活用を推進 ・いじめ等に関するアンケートを継続実施し、問題の早期発見と早期対応に向けた分掌問の連携を強化</p> <p><b>【指導力向上の職員研修】</b> ・一人一研修の参加率向上のため、研修の情報提供の仕方を工夫改善 ・性教育・人権教育LHR指導案の工夫改善</p>
	② 健全な心身と社会貢献精神の育成	<p><b>【基本的生活習慣の確立】</b> ・「SS」、「あさひ」の考えは生徒・職員に浸透したが、生徒の主体的な取り組みに課題 ・挨拶は改善傾向にあるが、自分から挨拶できる生徒の割合は低調 ・学校は落ち込んでいるものの、ルール・マナーを守る規範意識の更なる向上に課題 ・頭髪検査で各回不合格となる生徒が全校で平均25.4名 ・正しい制服の着こなしは徹底</p> <p><b>【ボランティア活動】</b> ・活動が活発化しており、その流れの継承が必須 (平成27年度実績:ボランティア25名、工業・ゼッタイ・Yシャツ21名、職員会議ボランティア除草8名、「あしなが学生募金」ボランティア7名、等)</p> <p><b>【部活動・生徒会活動】</b> ・生徒会役員は各種活動に参加しており、その活動を各クラスに拡大することに課題 (平成27年度実績:高校生マニアップさわやか運動、万引き防止広報活動、等)</p> <p><b>【環境改善】</b> ・廃棄物は2014年度比10%減、電力消費は2010年度比13%減</p> <p><b>【安全教育】</b> ・TEAS活動の目標はクリア、更に現状に合った目標を設定し、活動を継続</p> <p><b>【安全教育】</b> ・昨年度、登下校時の自転車による事故が5件あり、交通ルール・マナーの遵守に課題 ・SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)等の取り扱いに課題 ・携帯電話とスマートフォンの「校地内での使用禁止」は概ね定着</p>	<p><b>【基本的生活習慣の確立】</b> ・「SS」、「あさひ」に主体的に取り組める生徒の増加 ・挨拶は改善傾向にあるが、自分から挨拶できる生徒が8割 ・規範意識や社会に通用する行動や考え方を身に付ける生徒の増加 ・頭髪検査の不格合者数が半減 ・正しい制服の着こなしの定着</p> <p><b>【ボランティア活動】</b> ・ボランティア活動の参加者、昨年比10%増加</p> <p><b>【部活動・生徒会活動】</b> ・各クラス役員の活動と生徒会活動の活発化</p> <p><b>【環境改善】</b> ・廃棄物は2014年度比10%減、電力消費は2010年度比13%減</p> <p><b>【安全教育】</b> ・交通ルールやマナー等社会生活に必要な正しい知識の習得 ・登下校時等の無事故 ・規範意識の向上とルール・マナーの実践力の向上</p>	<p><b>【基本的生活習慣の確立】</b> ・「SS」、「あさひ」の日」の継続 ・生徒・職員によるあいさつ運動の推進 ・規範意識や社会に通用する行動や考え方を身に付ける生徒の増加 ・頭髪検査の不格合者数が半減 ・正しい制服の着こなしの定着</p> <p><b>【ボランティア活動】</b> ・ボランティア活動の場を広報し奨励</p> <p><b>【部活動・生徒会活動】</b> ・各クラス役員、生徒会役員の参加行事数の増加</p> <p><b>【環境改善】</b> ・標語、環境LHR、環境講演会等による教職員、生徒への啓発</p> <p><b>【安全教育】</b> ・全職員による朝の交通指導の継続 ・各種安全教育の実施 (携帯マナー講習、自転車安全、非行防止・薬物乱用防止教室等)</p>	<p><b>【基本的生活習慣の確立】</b> ・頭髪検査の不格合者数は昨年度と比べ減少 ・カターサンプの搬出が減少、制服の着こなし改善 ・日常的頭髪・服装指導の徹底 ・今年度導入した「学年ノート」(学年指導)に効果 ・自己挨拶できる生徒は年次当初より増加したもの、「8割」の目標は未達成 ・無許可転車減少、駐輪マナー向上 ・授業での挨拶ができない生徒が多く、話を聞く態度に課題</p> <p><b>【ボランティア活動】</b> ・ボランティア活動の場を広報し奨励</p> <p><b>【部活動・生徒会活動】</b> ・昨年度とほぼ同数の生徒がボランティア活動に参加するも昨年度比10%増の目標は未達成</p> <p><b>【環境改善】</b> ・部活動では中国大会に出場した選手数が昨年度となり増えるも今年度もその数を維持 ・生徒会活動では月2回の朝のあいさつ運動、募金活動等の実施</p> <p><b>【安全教育】</b> ・TEAS講演会、環境LHRの実施 ・12月で廃棄物2014年度比19.9%減、電力2010年度比15.3%減</p> <p><b>【安全教育】</b> ・計画通り、各種安全教室の実施 ・規範意識の向上、ルール・マナーの実践力に課題</p>	<p><b>【基本的生活習慣の確立】</b> ・頭髪服装指導の徹底 ・職員会議・職員朝礼等による指導方針の徹底と認識の共有、行動の一元化の推進 ・全校集会・生徒会集会・LHR等による生徒への周知の徹底 ・生徒指導のガイドラインの周知と徹底 ・「学年ノート」の活用 ・全職員・生徒会によるあいさつ運動の実施 ・年度始めの服装の徹底 ・駐輪場の点検および整理整頓は継続して実施、自転車ステッカー貼付位置の統一 ・保健室との連携</p> <p><b>【ボランティア活動】</b> ・ボランティア活動の情報発信、奨励を引き続き実施</p> <p><b>【部活動・生徒会活動】</b> ・関係分掌・教科等と連携、より多くの生徒が部活動や生徒会活動に参加できるよう支援</p> <p><b>【環境改善】</b> ・現在は目標を達成しているので、今後の活動を継続</p> <p><b>【安全教育】</b> ・各種安全教室のより効果的な実施時期・実施形態等の検討</p>	B
3 キャリア教育の充実と進路実現	① 専門的な知識・技術の習得	<p><b>【人材育成】</b> ・鳥工版デュアルシステムを3企業で実施 ・企業見学を工業関連企業2社・学校関係2校・公共施設4箇所で実施</p> <p><b>【人材育成】</b> ・インセンティブでは全体の事前説明会、科別説明会を実施しルール・マナーの指導 ・実習後の測定機器、実習室等の整理・整頓・清掃は各科とも定着</p> <p><b>【工業技術基礎】(共通実習)の充実】</b> ・レポートの内容と書き方の向上 ・レポートなど提出期限の遵守</p> <p><b>【工業技術基礎】(共通実習)の充実】</b> ・レポート内容への赤ペン指導やコメント記入による指導の実施 ・提出期限について前日に確認の指示</p>	<p><b>【人材育成】</b> ・鳥工版デュアルシステム、企業見学、インセンティブ等を体験。概ね達成</p> <p><b>【人材育成】</b> ・資格取得では一部の資格で合格率が向上 ・実習や課題研究を中心にSS(整理・整頓・清掃・模様)の指導 ・指導実験、高校生のみづくりコンテストへの参加の奨励と指導 ・資格・検定について意識を高めるガイドブックを配布 ・全生徒の一人一資格の達成に向け、資格取得のための補習を実施</p> <p><b>【工業技術基礎】(共通実習)の充実】</b> ・レポート内容への赤ペン指導やコメント記入による指導の実施 ・提出期限について前日に確認の指示</p>	<p><b>【人材育成】</b> ・鳥工版デュアルシステム、企業見学、インセンティブ等を体験。概ね達成</p> <p><b>【人材育成】</b> ・資格取得では一部の資格で合格率が向上 ・実習や課題研究を中心にSS(整理・整頓・清掃・模様)の指導 ・指導実験、高校生のみづくりコンテストへの参加の奨励と指導 ・資格・検定について意識を高めるガイドブックを配布 ・全生徒の一人一資格の達成に向け、資格取得のための補習を実施</p> <p><b>【工業技術基礎】(共通実習)の充実】</b> ・レポート内容への赤ペン指導やコメント記入による指導の実施 ・提出期限の前日確認指示はできていないが、未提出者のへの提出指導の充実</p>	B	<p><b>【人材育成】</b> ・各種資格の取得に向けた勉強会・補習の内容の見直しと資格取得の奨励 ・授業で検定実験の問題を取り上げるなどして資格試験を周知徹底</p> <p><b>【技能検定】</b> ・技能検定、高校生のみづくり大会への参加の啓発指導の継続</p> <p><b>【資格取得】</b> ・資格取得が達成が達成が効果的な学習計画の立案と指導・支援の実施</p> <p><b>【資格・検定】</b> ・資格・検定が就職・進学に大きなプラスになることを認識させ、積極的に資格・検定を受験するように継続して指導</p> <p><b>【工業技術基礎】(共通実習)の充実】</b> ・共通実習のレポート提出者への指導は工業学科4科が連携して情報交換のルールの作成 ・前日のSHRでレポート提出期限の指示の徹底</p>	
	② 勤労観・職業観の育成と進路指導の徹底	<p><b>【職業意識の育成】</b> ・インターンシップ、企業見学、応募前見学、社会人講師を実施、進路LHRを充実 ・外部就職ガイダンス等、進路行事を実施</p> <p><b>【進路指導の徹底】</b> ・進路希望調査を1、2年生は3回、3年生は2回実施し、結果活用 ・理数工学科において、高大交流事業、大学訪問を実施</p> <p><b>【進路指導】</b> ・進路指導の実施、文書指導、サマーサイエンスセミナーを実施し、学力向上に努力 ・外部模試の結果からの対策を指導法等に活用 ・2年生による模試の実施で、各教科の面接指導と担任面談がより充実 ・3年生による模試の実施で、各教科の面接指導と担任面談がより充実 ・国公立大学への進学は現役10名、浪入6名の計16名 ・就職の一回目選考試験合格率は82.2% (平成26年度82.4%)、前年度とほぼ同じ</p>	<p				